

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成22年3月25日(2010.3.25)

【公表番号】特表2009-533633(P2009-533633A)

【公表日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【年通号数】公開・登録公報2009-037

【出願番号】特願2009-506505(P2009-506505)

【国際特許分類】

F 1 6 H	57/02	(2006.01)
B 6 0 B	35/16	(2006.01)
B 0 1 D	39/04	(2006.01)
B 0 1 D	39/16	(2006.01)
B 0 1 J	20/24	(2006.01)
B 0 1 J	20/26	(2006.01)
B 0 1 D	71/36	(2006.01)

【F I】

F 1 6 H	57/02	3 0 2 C
B 6 0 B	35/16	G
F 1 6 H	57/02	3 0 3 C
B 0 1 D	39/04	
B 0 1 D	39/16	C
B 0 1 J	20/24	A
B 0 1 J	20/26	A
B 0 1 D	71/36	

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月4日(2010.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- a . 流体密封の筐体内部に配置されたギアアセンブリと、
- b . 該筐体内部に配置された潤滑剤と、
- c . 該筐体内部と外部の間で流体の連通を提供する通路と、
- d . 該通路を覆うガス透過性で水不透過性の膜と、
- e . 前記潤滑剤と該水不透過性の膜の間の通路内に配置された纖維状収着剤と

を含む、ベント付自動車用ギアケース。

【請求項2】

前記膜がe P T F Eを含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項3】

前記膜が前記筐体内部から6インチ未満である、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項4】

前記膜が疎油性である、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項5】

前記纖維状収着剤が天然纖維を含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 6】

前記天然繊維が綿を含む、請求項5に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 7】

前記天然繊維がカポックを含む、請求項5に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 8】

前記天然繊維がトウワタを含む、請求項5に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 9】

前記天然繊維がウールを含む、請求項5に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 10】

前記纖維状収着剤が合成纖維を含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 11】

前記合成纖維が、ポリプロピレン、ポリエチレン、レーヨン、ナイロン6、ナイロン66を含む群より選択される、請求項10に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 12】

前記合成纖維がポリエチレンを含む、請求項11に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 13】

前記纖維状収着剤が天然纖維と合成纖維を含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 14】

前記纖維状収着剤が内部の空きスペースを有する纖維を含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 15】

前記纖維状収着剤が中空纖維を含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 16】

前記纖維状収着剤が表面の特徴を有する纖維を含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 17】

前記纖維状収着剤が疎水性である、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 18】

前記纖維状収着剤が親油性である、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項 19】

a . 内部空間と外部空間を画定し、該内部空間が潤滑剤を含む流体密封のハウジングと、

b . 通路を有する本体を含むベントと、

c . 該通路を覆うガス透過性で水不透過性の膜と、

d . 該通路内に配置され、該膜の第1の側面に隣接する纖維状収着剤であって、その纖維が気孔を有する纖維状収着剤と

を含む、ベント付機械装置の筐体。

【請求項 20】

前記膜がe P T F Eを含む、請求項19に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 21】

前記膜が前記筐体内部から6インチ未満である、請求項19に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 22】

前記膜が疎油性である、請求項19に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 23】

前記纖維状収着剤が天然纖維を含む、請求項19に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 24】

前記天然纖維が綿を含む、請求項23に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 2 5】

前記天然繊維がカポックを含む、請求項2 3に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 2 6】

前記天然繊維がトウワタを含む、請求項2 3に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 2 7】

前記天然繊維がウールを含む、請求項2 3に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 2 8】

前記纖維状収着剤が合成纖維を含む、請求項1 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 2 9】

前記纖維状収着剤が天然纖維と合成纖維を含む、請求項1 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 0】

前記合成纖維が、ポリプロピレン、ポリエチレン、レーヨン、ナイロン6、及びナイロン6 6を含む群より選択される、請求項2 8又は2 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 1】

前記合成纖維がポリエチレンを含む、請求項3 0に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 2】

前記纖維状収着剤が内部の空きスペースを有する纖維を含む、請求項1 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 3】

前記纖維状収着剤が中空纖維を含む、請求項1 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 4】

前記纖維状収着剤が表面の特徴を有する纖維を含む、請求項1 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 5】

前記纖維状収着剤が疎水性である、請求項1 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 6】

前記纖維状収着剤が親油性である、請求項1 9に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項 3 7】

a . 通路を有する本体と、
b . 該通路を覆うガス透過性で水不透過性の膜と、
c . 機械装置の空間と該膜の間の通路内に配置された纖維状収着剤と
を含む、機械装置の空間のためのベント。

【請求項 3 8】

前記膜がe P T F Eを含む、請求項3 7に記載のベント。

【請求項 3 9】

前記膜が筐体内部から6インチ未満である、請求項3 7に記載のベント。

【請求項 4 0】

前記膜が疎油性である、請求項3 7に記載のベント。

【請求項 4 1】

前記纖維状収着剤が天然纖維を含む、請求項3 7に記載のベント。

【請求項 4 2】

前記天然纖維が綿を含む、請求項4 1に記載のベント。

【請求項 4 3】

前記天然纖維がカポックを含む、請求項4 1に記載のベント。

【請求項 4 4】

前記天然纖維がトウワタを含む、請求項4 1に記載のベント。

【請求項 4 5】

前記天然纖維がウールを含む、請求項4 1に記載のベント。

【請求項 4 6】

前記纖維状収着剤が合成纖維を含む、請求項37に記載のベント。

【請求項47】

前記纖維状収着剤が天然纖維と合成纖維を含む、請求項37に記載のベント。

【請求項48】

前記合成纖維が、ポリプロピレン、ポリエチレン、レーヨン、ナイロン6、及びナイロン66を含む群より選択される、請求項46又は47に記載のベント。

【請求項49】

前記合成纖維がポリエチレンを含む、請求項48に記載のベント。

【請求項50】

前記纖維状収着剤が内部の空きスペースを有する纖維を含む、請求項37に記載のベント。

【請求項51】

前記纖維状収着剤が中空纖維を含む、請求項37に記載のベント。

【請求項52】

前記纖維状収着剤が表面の特徴を有する纖維を含む、請求項37に記載のベント。

【請求項53】

前記纖維状収着剤が疎水性である、請求項37に記載のベント。

【請求項54】

前記纖維状収着剤が親油性である、請求項37に記載のベント。

【請求項55】

筐体内部と周囲空気の間をガスが通過するための通路と、該通路をシールする多孔質膜とを収容するタイプの機械装置の筐体のための改善されたベントであって、該膜と該筐体内部の間の通路内に配置された纖維状収着剤を含む、ベント。

【請求項56】

機械装置の空間内部からガスをベントするための通路と該通路を覆う多孔質膜とを提供するタイプの機械装置の空間をベントする方法において、該膜と該機械装置の空間内部の間に纖維状収着剤を提供することを含む、改善された方法。

【請求項57】

前記膜に積層された支持材料をさらに含む、請求項1に記載のベント付自動車用ギアケース。

【請求項58】

前記膜に積層された支持材料をさらに含む、請求項19に記載のベント付機械装置の筐体。

【請求項59】

前記膜に積層された支持材料をさらに含む、請求項39に記載のベント。